

# 人権教育月間

## 校長講話

R4/6/23

主催する飯伊地区の中高の会議と重なりました。  
録画にて失礼します。

「SNS上の悪口投稿」をメインに話を考えました。  
問いを共有し、想像しながら見聞きしてください。

スライド8枚

今年の前期人権教育月間は、「いじめ解消」にスポットが当てられています。数多くの「なぜ？」が存在すると思います。

いじめは良くないことだ！と分かっているけど、世の中ではなぜ、いじめが無くならないのでしょうか？

なぜ、人はいじめをしたり、されたりするのでしょうか？

なぜ、人の悪口を言ったり、誹謗中傷をしたりするの？

なぜ、人の物を隠したり、盗んだり、落書きしたりするの？

なぜ、人を排除したり、無視したり、攻撃したりするの？

私は、人の心の弱さや醜さを感じるとともに、自分自身にもこのような心が潜んでいることは十分に承知しているところです。

様々な「問い(なぜ?)」が頭の中を巡りました。

続いて、社会問題になっているSNS上の書き込みについて、次の問いから考えてみましょう。

なぜ、悪口などを書き込んで、噂を流すのでしょうか？

人を陥れるのでしょうか？

人を攻撃するのでしょうか？

近くの人と1分程度対話をしてみてください。

そして、なるほどそのような考え方や視点・発想があるのかと、自分の見方考え方を広げてみましょう。

次に、これから示す場面について、行っている人の感情や表情を想像してみましょう。

- ◆タブレットを使って、人の悪口を打ち込んでいる姿
- ◆マジックやボールペンを使って、悪口を落書きしている姿
- ◆事実を確かめないままに、噂話を流している姿
- ◆相手にきつい言葉をかけて、人を責めたりしている姿
- ◆相手の欠点を指摘して、馬鹿にしたり嘲笑ったりしている姿

どうでしょうか。 私には「美しくない姿」に見えてしまいます。

ところで、インターネット書き込みで、次のような調査結果があることを知りました。  
(株)弁護士ドットコムによる2022年1月調査

「ネット上で誹謗中傷をしたことがありますか」と聞いたところ、「ある」と回答した人は**13%**でした。【200人だったら26人】

性別・年代別にみると、「50代男性」(24.4%)が最も高く、次いで「40代男性」(22.7%)、「30代男性」(14.2%)、「40代女性」(9.7%)、「30代女性」(8.0%)と続き、中高年男性の加害経験の比率が高かったそうです。

「投稿した誹謗中傷の内容」について聞いたところ、最も多かったのは、「**容姿や性格、人格に対する悪口**」(83.0%)、次いで「**虚偽または真偽不明情報を流す**」(17.6%)、「**プライバシー情報の暴露**」(16.5%)、「脅迫」(6.8%)と続いたそうです。

この調査結果を受けて、ある情報番組のコメンテーターたちはこんなことを言っていました。

- ◆仕事で疲弊しているおじさんのストレス発散の場なのか？
- ◆自分だとバレない、匿名性がよくないのではないか。
- ◆この人たちは、個人が特定されることを知らないんですね。
- 若者の比率が少ないのは、学校でネットリテラシー教育を受けているからだと思いますよ。

ネットリテラシーとは、インターネットの便利さ、脅威やルールを理解し、適切に使用するための能力のこと。適切なインターネットを利用するための必要なスキルとも言える。

40代以上の世代は、働き始めてからケータイやスマホが登場しました。そして、知識があいまいなままに、試行錯誤をしながら使っていました。

しかし、若者世代は生まれたときからインターネット環境で育ち、法的整備も整い始めている社会で育っています。

正しく知識を得て理解することは、とても大切なことと考えますし、**思い込みには十分注意したい**とも思います。

なぜなら、昨年学んだジェンダー平等や部落差別はじめ、ハンセン病やHIV感染、アイヌや人種差別、高齢者や障がい等々、どの差別事象も、正しく理解していないことが問題点として挙げられていたり、考え方が刷り込まれたりしているからです。

昨年11月の私の話と重なりますが、結びに「どのようにすれば、いじめが無くなるか」について話します。

残念ながら、いじめが0(ゼロ)になることは無いと思われます。

なぜなら、私たちには**苦手な人**がいたり、**負(マイナス)の感情**  
**や考え方、ストレス**などがあったり、**感じ方が違ったり**する。

しかし、意識することで、0(ゼロ)に近づけることはできます。

なぜなら、**私たちは学んでいる**からです。自分がされて嫌なこと  
や、嬉しいことを知っています。相手の気持ちを想像したり、共  
感したりできます。**ポジティブ思考・プラス思考**もできます。

心理学者のエリック・バーンさんはこう言っています。

～ 過去と他人は変えられない。しかし、

**今ここから始まる 未来と自分は変えられる。～**